

# 健康管理システム等標準化検討会（第2回）

## 議事概要

日時：令和4年3月4日（金）10:00～12:00

場所：WEB会議及び日本コンピューター株式会社りそな新橋ビル6F会議室

### 【議事次第】

1. 開会
2. 議事
  - (1) 本日の検討会について
  - (2) 論点の方向性についての結果報告
  - (3) これまでの対応報告について
  - (4) 健康管理システム標準仕様書について
  - (5) 健康管理システム標準仕様書別紙について
  - (6) 健康管理システム標準仕様書(案)【R4.3時点版】の決定について
  - (7) その他
3. 閉会

### 【配布資料】

資料1\_本日の検討会について

資料2\_論点の方向性についての結果報告

資料3\_これまでの対応報告について

資料4\_健康管理システム標準仕様書(案)【R4.3時点版】

別紙1\_業務フロー

別紙2\_機能・帳票要件

別紙3\_帳票詳細要件

別紙4\_帳票レイアウト

### ○議事概要

（議事（1）について）

事務局から本日の検討会について説明が行われた。

（議事（2）について）

事務局から論点の方向性について結果報告が行われた。

意見、質問等なし

(議事 (3) について)

事務局からこれまでの対応報告について説明が行われた。  
意見、質問等なし

(議事 (4) について)

事務局から健康管理システム標準仕様書について説明が行われた。

<質疑応答>

(座長) 特定健診の整理について厚生労働省保険局の懸案事項となっていたが、現在の検討状況を確認したい。

⇒ (厚生労働省) 特定健診は令和4年8月の健康管理標準仕様書1.0版公開までのスケジュール内では標準化の対象とはしない方針とされている。特定健診業務は地方自治体システムと国保連合会システムの双方で分担して事務を遂行されており、標準仕様の整理に際しての課題が多い。中長期的に引き続き検討していくこととなる。

⇒ (座長) 自治体では特定健診とがん検診は一体として運用されることが多い。特定健診がガバメントクラウド上で稼働させられない場合、自治体内で管理する特定健診システムとガバメントクラウド上の健康管理システムは、どのように連携して運用されていくこととなるか。

⇒ (デジタル庁) 標準化対象外のシステムについてガバメントクラウド上で稼働させられるかどうかについては密接関連事務として整理されるかに関連する。密接関連事務の整理については現在進めている先行事業の検証内容を踏まえて検討されていく。仮に特定健診システムをガバメントクラウドではなく自治体内に構築した場合、どのようにガバメントクラウド上の健康管理システムと連携してか先行事業の検証内容を踏まえて方針を示したい。

(議事 (5) について)

事務局から健康管理システム標準仕様書別紙について説明が行われた。  
意見、質問等なし

(議事 (6) について)

(座長) 健康管理システム標準仕様書(案)【R4.3時点版】について意見はあるか。  
意見、質問等なし

(座長) 健康管理システム標準仕様書(案)【R4.3時点版】を決定とする。

(議事 (7) について)

(地方自治体) 地域保健等の報告様式がシステムから計上可能との説明があったように、標準化を進めることで市町村の負担が軽減されるような方向性で進めていただ

きたい。予防接種予診票のデジタル化については、医療機関への説明や指導についても国から実施していただきたい。

⇒（厚生労働省）承知した。地方自治体のメリットになることが重要だと認識している。医療機関に対しても地方自治体と連携しながら説明等をしていきたい。

⇒（地方自治体）文書通知だけでなく指導等もお願いしたい。

（事務局）地方自治体構成員から事前にいただいた質問になるが、厚生労働省管轄で実施されている各業務のシステム標準化検討会について、資料公開スケジュールを確認したい。

⇒（厚生労働省）厚生労働省ホームページ上で掲載場所の作成まで完了している。

各業務担当へ掲載依頼をしており、順次公開されていく予定である。

以 上